



大仙市立西仙北中学校
3学年通信
R2.10.14 (水)
No.24

後期始まる

今週から後期が始まり、初日の10月12日(月)に後期始業式が行われました。今回の生徒作文は佐々木 さんでした。さんは、学習面での自分の取り組み方や改善点、これまで頑張ってきた吹奏楽部の引退を来月に控えての現在の心境、自身の内面の成長などについて語りました。言葉の一つ一つから さんの真摯な姿勢が伝わってくる内容でした。(裏面をごらんください。)

合唱コンクールに向けて

朝や帰りの会で練習している合唱練習も大詰めを迎えました。各クラスとも、互いに意見を出し合いながら熱心に練習に励み、自分たちの合唱を作り上げてきました。明日はいよいよ本番です。心を一つにして最高の合唱ができることを願っています。

○会場：大仙市協和市民センター「和ピア」大ホール(9:45開場)

○日程：10:00 開会式 11:35 閉会式(3年の合唱は10:50頃を予定しております。)



A組の練習風景



B組の練習風景

☆課題曲「流浪の民」

☆3A自由曲「君の隣にいたいから」

指揮者 齋藤 さん

「クラスのみんでいい合唱をするために、練習してきた成果を存分に発揮して頑張りたい。」

ピアノ伴奏者 佐々木 さん

「中学校生活最後の合唱コンクールなので、皆で楽しんで堂々とした合唱をしたいです。」

☆3B自由曲「友～旅立ちの時～」

指揮者 嵯峨 さん

「中学校生活最後の合唱コンクール。1年生はもちろん、2年生や3年A組を超える合唱になるような指揮ができるよう頑張ります。目指すは最優秀賞のみ！」

ピアノ伴奏者 三浦 さん

「課題曲は強弱をはっきりさせてテンポにのって弾きたいです。自由曲は、歌詞にたくさんの思いが込められているので、それらを伝えられるように弾きたいです。」

※裏面もご覧ください。

「前期の振り返りと後期の抱負」 佐々木



私が前期に頑張ったことは三つあります。一つ目は学級副委員長としての仕事です。はじめはクラスをうまくまとめたり、リードしたりすることができず、悩んでばかりでした。それでも、うまくできないことを素直に受け止め、周りにアドバイスを求めたり、一人一人の意見を聞きながら話し合ったりしていくうちに、まとまりのあるよいクラスになっていきました。一人で頑張るのではなく、皆で協力し合うことの大切さを学ぶよい経験になりました。

二つ目は立志祭です。私は特に劇部門の活動に力を入れました。セリフを覚えたり、感情を込めたりすることが難しかったです。本番はとても緊張しましたが、大成功だったと思います。また、いろいろな人から「感動した。」と言ってもらえてうれしかったです。コロナウイルスの影響を大きく受けての開催でしたが、最高の立志祭になったと思います。

三つ目は一人勉強です。三年生になり、授業内容が難しくなったことに加え、実力テストの回数が多くなりました。そのため、自分がやるべき内容を考え、去年よりも充実した一人勉強になったと思います。これを受験に向けて後期も続けていきたいです。

私は前期を通して、自主性や積極性を高めることができました。後期は自分の進路について考え、自らの勉強に励んでいきたいです。

コロナウイルスによる休校や修学旅行の中止、立志祭の時間短縮など悔しい思いをした前期でしたが、そういった制限のある環境だからこそ楽しい経験も多くありました。後期もコロナウイルスに負けずに一日一日を大切にしながら生活していきたいと思います。

「後期の抱負」 佐々木



私は、後期に頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、勉強です。前期の定期テストでは、社会が足を引っ張り、実力テストでは国語でかなり点数を落としてしまいました。原因は、ケアレスミスと文章を読み取る力の不足でした。だから、解き方を工夫し、点数をとれる問題は確実にとれるようにしたいです。そのために、一人勉強の学習量をもっと増やし、まんべんなく学習できるようにしたいです。また、覚えられることは授業でできる限り覚えるようにしたいです。

二つ目は、部活動です。私の所属している吹奏楽部は、来月に3年生が引退します。今年は新型コロナウイルスの影響で、コンクールやボランティアコンサートが中止となったり、思うような練習ができなくなったりしました。そのような中、演奏会や立志祭を開催できたことがとてもうれしかったです。残り少ない部活動期間ですが、定期演奏会では、三年間の集大成を披露できればと思います。吹奏楽部は3年生の活動が11月まであり、受験生にとってはかなり厳しい状況ですが、部活動を言い訳にせず、勉学に励んでいきたいです。

三つ目は、積極性を高めることです。今、こうして演台で話しているのも、かつての自分であれば考えられないことでした。けれども学年が上がるにつれて、大勢の前で話すことに少しずつ慣れてきました。今度は、目線や話し方を意識して話せるように心がけていきたいです。そして、残り数ヶ月となった中学校生活を悔いの残らないものにしていきたいです。